

ウェルネスバレーワンストップ窓口事業から「医療機関でのウェットティッシュ提供機「SAWANNA」実証事業」が誕生

大府市は、ウェルネスバレー関係機関と市内外のものづくり企業をワンストップで支援するワンストップ窓口事業から誕生した、「医療機関でのウェットティッシュ提供機「SAWANNA」実証事業」を開始します。本件は、市内のスタートアップがワンストップ窓口事業に取り組む初めての事例となります。

■「医療機関でのウェットティッシュ提供機「SAWANNA」実証事業」の概要

経緯と目的／株式会社 Field Alliance から、片手で簡単に、1枚単位でウェットティッシュを取り出せる機械「SAWANNA」について医療機関での使用用途や課題抽出などのため、実証先紹介の相談がありました。本市がウェルネスバレー関係機関に照会したところ、あいち小児保健医療総合センターから協力の申し出があり、本事業を開始することとなりました。

開発企業／株式会社 Field Alliance（大府市北崎町井田 27 番地 1（株式会社松尾製作所技術開発部内。当社は株式会社松尾製作所発のスタートアップ）

ウェブサイト：<https://sawanna.jp/>

特徴 株式会社松尾製作所が自動車産業で培ったセンサー技術を活用。

実証先施設／あいち小児保健医療総合センター（大府市森岡町 7-426）

市の関与／①実証に先立つ企業、施設間における複数回にわたるミーティングのアレンジ及び参加

②実証事業の普及啓発

